

〈大会統一テーマ〉

持続可能な社会と くらしのために、 ともに考え行動しよう

開催
日時

2024年3月9日(土)

参加費無料

9:50~15:35 オンライン(Zoom)開催
申込者への見逃し配信あり。9:30~
入室可能

9:50

開会挨拶・事務局連絡

10:00

第1セッション **食**

食をめぐる 私たちの未来 ～「食べる」の向こう側にあるもの～

気候変動やウクライナ紛争など世界的な食料情勢が激動する中、日本の食を取り巻く情勢も様々な影響をうけており、国の指針である食料・農業・農村基本法も改正にむけた準備が進められています。本セッションでは、そのような国内外の情勢と、私たちの「食べる」という身近な行為がどのようにつながっているのかについて読み解いていきます。さらに、「健康的で持続可能な食生活」をキーワードに、食の未来はどうなるのか、私たち消費者は将来世代の食のために何ができるのか、などについて考えていきます。

12:00

一旦退出
いただきます。13:10~
入室可能

13:30

第2セッション **デジタル**

消費者が知っておくべき インターネット広告の最新事情 ～課題共有と解決に向けた取り組み～

インターネットの広告費は、2021年にマスコミ4媒体の合計を上回り、以降も右肩上がり伸びています。インターネット広告の種類は多岐にわたり、中には広告であることが分かりづらいものや、消費者を欺くような表示のものが存在し、広告表示がトラブルのもとになるケースも多々見受けられるのが現状としてあります。最近のインターネット広告の仕組みやメリット、トラブル事例、現状の課題などについて触れながら、健全な広告のあり方について考えます。

※講演とあわせ、ネット広告に関する活動報告を大学生が発表します。

15:35

「全国消費者大会」は今回で62回目の開催となる消費者と消費者団体の集会です。3月15日の「世界消費者権利の日 World Consumer Rights Day」に合わせて開催します。

参加の方法：基本的にはオンライン参加となりますが、一部会場参加も可能です。事前にご相談ください。

セッションの選び方：お申し込みの際、関心のある1~2つのセッションを、自由にお選びください。

講師紹介



しもかわ さとる
下川 哲氏
早稲田大学政治経済学術院 准教授

略歴

2000年、北海道大学農学部農業経済学科卒業。2007年、コーネル大学にて応用経済学の博士号(Ph.D.)取得。香港科技大学社会科学部助教授、アジア経済研究所研究員を経て2016年から現職。これまで、Food Policyなど複数の国際学術誌の編集委員も務める。専門は「食」をとりまく社会問題を経済学的手法で研究する農業経済学。著書に「食べる経済学」(2020年、大和書房)。

講師紹介



かさい ほくと
笠井 北斗氏
一般社団法人日本アフィリエイト協議会代表理事
東京都表示適正化対策専門助言員、東京デジタルCATS助言員

略歴

1999年に米国でアフィリエイト・マーケティングに出会う。以降、運営者側、広告主側の両方でアフィリエイトに関わり続け、2005年に独立、翌年アフィリエイト運用支援やアフィリエイト向け教育啓発活動を行うクロスワーク(株)を設立。2010年に日本アフィリエイト協議会の創立に携わり、2020年の一般社団法人化に伴い代表理事に就任。市場の健全化に向け様々な取り組みを行っている。